

緊急地震速報の予測精度向上

緊急地震速報の予測精度を向上により、避難行動や、救助活動時の余震への対応に資する。



＜同時多発地震への対応＞

津波予測情報の高度化

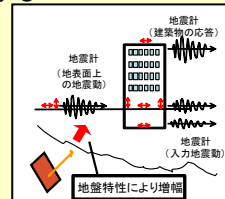
迅速かつ正確な地震規模の推定及び沖合観測データの活用による津波予測情報の高度化により、避難行動や水門・陸閘制御等に資する。



＜沖合の津波観測データを用いた予測＞

海溝型巨大地震等の地震特性を踏まえた建築物の耐震性能設計技術

地盤特性に応じた建築物の耐震性能評価技術を開発し、海溝型巨大地震等にも対応した建築物の安全性確保を効率的に実現する



＜地盤特性に応じた地震動＞

市街地における低コスト液状化対策技術

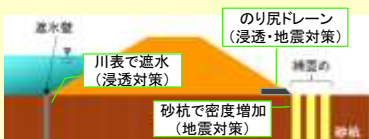
既造成地に適した、道路・宅地一体となった面的な液状化対策の工法・方策を見出し、低コスト化を図ることにより、対策の促進が図られる。



＜既造成地の液状化対策の検討例＞

大規模地震・津波に対する河川堤防の複合対策技術の開発

これまで単独で実施してきた、『浸透対策』及び『耐震対策』を組み合わせた複合技術を開発し、地震・津波発生時の安全性の向上が図られる。



河川堤防の浸透・地震複合対策

大規模広域型地震被害の即時推測技術

地震発生直後の情報の少ない段階において、強震記録から河川・道路施設の被災状況を推測する手法を開発し、重点復旧箇所や優先緊急対応箇所の特定を目指す。



＜通行に影響を及ぼした橋梁被害＞

港湾堤外地における津波からの安全性向上

港湾堤外地において求められている避難計画策定に向け、漂流物等観測のための短波海洋レーダの津波観測への活用技術の開発等を行い、『港湾堤外地の避難行動計画システム(仮称)』を構築する。



＜堤外地における津波からの防護は困難な状態＞

津波が越えても壊れにくい防波堤構造

津波による大きな被害を受けたとしても倒壊せず、最低限の耐力を保持する「粘り強い」構造物に向けた技術開発を行い、命・住まいへの被害を最小限に抑える



＜湾口防波堤の模型実験＞

非構造部材(外装材)の耐震安全性の評価手法・基準

建築物のタイル・モルタル等の外装材を対象に剥落防止のための技術基準類の確立、および地震後の健全性の評価方法とする方法の確立を目指す。



＜東日本大震災等における外装材の落下＞

○グリーンイノベーション分野においては、アクションプランに提案した以下の5施策を中心として取組を推進

アクションプランの取組

グリーンイノベーション分野

目指すべき社会の姿	政策課題	重点的取組	登録施策
豊かで活力のある持続可能な成長を実現するエネルギー・環境先進社会	クリーンエネルギー供給の安定確保	技術革新による再生可能エネルギー利用の飛躍的拡大	浮体式洋上風力発電施設の安全性に関する研究開発（海事局：40百万円）
	エネルギー利用の革新	技術革新によるエネルギー消費量の飛躍的削減	住宅・建築の省エネルギー性能評価手法の高度化による消費エネルギーの削減（建築研究所：運営費交付金の内数）
	社会インフラのグリーン化	地球環境情報のプラットフォーム構築	地球地図プロジェクトの推進（時系列データ整備手法の開発）（国土地理院：31百万円）
		エネルギー・環境先進まちづくり	ゲリラ豪雨（局地的大雨）対策に関する研究（水管理・国土保全局、気象研究所：26百万円）
			社会インフラ整備の低炭素化と資源有効利用の推進（土木研究所：運営費交付金の内数）